

第2期「石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体像

3

人口ビジョン

中期展望（2040年）

定住人口の維持

2040年の社人研推計準拠に
約10,000人の上乗せ

2040年人口見通し
約53,000人

（社人研推計準拠 42,623人）

- ①人口置換水準の回復(+1,000人)
※2040年までに合計特殊出生率が2.07に段階的に回復
- ②転入・転出人口の均衡(+4,000人)
※近年の人口移動により、2030年に転入・転出人口が均衡
- ③広域連携により圏域に人を呼び込む
- ④「しごと」等の創出による移住・定住
(③④ +5,000人)
※魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込むとともに、将来を担う人材が豊富な圏域を形成
※新たな産業の立地、Uターン、起業支援、移住支援など

交流人口の拡大
年間270万人の交流人口創出

- ・まちの魅力（観光、新産業、雇用）
- ・移住誘導
- ・近隣市町村との連携

関係人口の創出・拡大

- ・ふるさと納税
- ・地域と継続的なつながり
- ・外国人との交流

長期展望（2060年）

人と経済、歴史の
好循環

将来の
「まちの持続」

都市像

推進方策

戦 略 目 標（◆数値目標）

具体的な施策

主な重要業績評価指標（KPI）

絆

「住み続けたい、住みたい」と思う、魅力あるまちであり続ける

環

境

創

造

みんなで作る、こんなまち・いしかり
総計策定作業における市民意見の検討協働・連携・成長
まちづくりの進め方計画の進化
市民による地域経営
線行政経営

市民像

総合戦略（2020(R2)～2024(R6)の5 年間）

「新現役世代」が活躍する

知識や技能、経験を有する「新現役世代」が地方を元気にする中核として、生涯健康で活躍するまちを目指す。

【数値目標】

- ・地域活動に関わりをもつ新現役世代の人数 10,000人
- ・自分の知識や経験を地域社会で活かしたいと思う60歳以上の市民の割合 100%

「子育て力」をさらに発揮する

まち全体で子育て家庭や子どもの育ちを支え、子どもが安全かつ安心して学び、健やかに育つまちを目指す。

【数値目標】

- ・令和6年度末における年少人口 6,100人
- ・子育てに関する様々な集まりに参加している市民の割合 50%

「地域資源」からモノやしごとを創る

石狩の資源や魅力、石狩湾新港地域のポテンシャルから、新たな産業やブランドを創出し、地域経済が活性化されるまちを目指す。

【数値目標】

- ・市内産業売上高 2,500億円
- ・石狩湾新港地域における立地企業数 800社

「いろんな顔」をつくる

まちの魅力や地域の特色を磨き上げ、まちの自慢や誇りとなる「顔」があるまちを目指します。

【数値目標】

- ・交流人口数 270万人
- ・地域資源を見つけ、価値を創造し、魅力あるまちにしていけるための集まりに参加している市民の割合 50%

誇りとなる「人や文化」を育てる

石狩の新しい文化を醸成し、人がまちの誇りになる循環の仕組みをつくる。新しい石狩人の流れを作る。

【数値目標】

- ・転入・転出者数の均衡（転入者数-転出者数）100人
- ・石狩市が好きと感じる市民の割合 100%

時代にあった地域として持続する

長期的視点で安心・安全な生活環境を持続するため、公共施設の適正配置、維持管理を推進する。

【数値目標】

- ・令和6年度末における人口 56,000人
- ・これからも石狩市に住み続けたいと思う市民の割合 100%

- (1)「新現役世代」の活動と交流の推進
- (2)地域課題を解決する地域ネットワークの構築
- (3)多世代交流による地域の活性化
- (4)健康寿命の延伸に向けたサポートの充実

- (1)若い世代の出会いを通じた地域活力の醸成
- (2)地域が連携した子育て支援・地域教育の推進
- (3)就業者の視点に立った子育て環境の整備
- (4)妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実

- (1)地域資源を活用した新産業の創出
- (2)地場製品の知名度向上
- (3)新しい雇用の創出、若者の職場定着支援
- (4)地域資源を活かした地域経済循環の推進
- (5)物流を核とした臨海部産業集積エリアの形成
- (6)エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成

- (1)観光資源を活かした交流人口の誘導
- (2)中山間・過疎地域における多機能・複合型交流拠点の形成
- (3)農山漁村交流を軸とする地域の魅力発信
- (4)畜産品を活用した地域の顔づくり
- (5)地域の魅力や可能性を活かした賑わいづくり

- (1)学びの機会と輪を広げる取組の推進
- (2)スポーツ・健康のまちづくりの推進
- (3)競技スポーツの推進とアスリートの育成
- (4)幅広い人材登用による地域活力の創出
- (5)自然とのふれあいを通じたふるさと意識の醸成
- (6)鮭の歴史文化の醸成による観光産業の活性化
- (7)移住・定住の推進

- (1)ICTを有効活用する新たな行政サービスの構築
- (2)民間ストックの活用促進による地域活性化
- (3)時代・地域に即した交通体制の推進
- (4)行政事務の広域連携の推進
- (5)近隣自治体との連携強化の推進
- (6)遊休公共財産の有効活用の検討
- (7)将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進

まちづくり出前講座および市民カレッジの講座参加者数 15,000人（5年間）

認知症カフェの開催回数 180回（5年間）

食育推進関連実施の実施件数 5件（5年間）

結婚支援事業開催数 10回（5年間）

学校支援地域本部事業（あい風寺子屋教室）の参加人数 4,000人（5年間）

待機児童数 0人（通年）

地場特産品販売額 10億円（5年間）

セミナー参加の高校生の就職内定率 100%（通年）

オフセット・クレジット（いしかりJ-VER）の販売量 500t（5年間）

「物流関連ゾーン」を含む石狩湾新港地域内（石狩市域）への新規立地企業数 50社（5年間）

海辺の施設・イベント等の入込数 60万人（5年間）

道の駅入込数 200万人（5年間）

販路拡大の取組数 10件（5年間）

いしかり市民カレッジの登録者数 250人（毎年）

スポーツイベント参加者数 50,000人（5年間）

Uターン者数 20名（5年間）

石狩市三大秋祭り入込数 30万人（5年間）

ウェブGISの閲覧回数 15万回（5年間）

デマンド交通利用者数 6,000人（5年間）

近隣市町村との新たな公共施設等の共同利用実施件数 2件（5年間）

～ 石狩PRIDE ～